

ダイシン工業 株式会社

ニーズをつかむ設計力で
独自の収納家具を展開納期
相談
メイドイン
ジャパン
量産
対応

「バリアス・シスト」ブランドのオフィス用収納家具

業務
内容独自の機構設計により
高付加価値の家具を提供

オフィス用スチール家具メーカーとして創業60年を超える。独自の機構設計を持つ家具を重点的に製造。創業当初は、引き出しの可動域を増やす「サスペンションレール」を搭載した書類入れ「ファイリングキャビネット」が主力だった。

現在は「バリアス・シスト」ブランドのオフィス用収納家具や、工具キャビネットやワゴンなどの工場用家具、医療分野向けの医薬品収納やカルテ収納庫などを製造。鶴見哲男社長は「コスト競争ではなく手間暇をかける」と方針を掲げ、安全性と利便性を両立する設計で支持を得ている。

強み

ユーザーの声に応える
安全で便利な収納が高評価

主力の「バリアス・シスト」シリーズは独自の配慮が光る。鍵穴やヒンジなど表面の突起物がなく引っかかりがない。家具が転倒しないよう引き出しは2段以上を同時に引き出せないセーフティーロックを装備している。扉には180度開き、開放状態を保持できるヒンジを採用。引手は大型で指がかりやすく、軽い力で開けられる機構を開発した。

また、薬局向けの収納では施錠に工夫。1カ所のロックですべての調剤トレイを一括施錠できる。棚内部の劇薬向け金庫型収納ではダイヤル錠とシリン



生産の主力となっている鈴鹿工場

環境
対策技術力に加えて環境負荷の
軽減にも力を入れる

ダイヤル錠で二重ロックが可能など、使用現場の声に応えた。

長時間の稼働や迅速な配送のため、現在は工業団地にある鈴鹿工場（三重県亀山市）に製造を一本化。省エネ設備を導入するなど生産工程での環境負荷の軽減にも取り組む。平成25年には太陽電池パネルも設置。使用する20～30%のエネルギーを自社でまかなう。

鶴見社長は「清流レベルの水しか出さない」と排水処理も高く意識。平成26年に粉体塗装を開始し、塗料使用率を98～99%までに引き上げて排水を減らした。平成27年には塗装の前処理の皮膜を劇物のリン酸亜鉛からリン酸鉄に変更。より環境負荷の少ない工場へ改善を続けている。

今後の
展望新規市場や若手育成で
将来に続く企業であり続ける

オフィス家具を中心にしたつつ新規市場開拓も積極的に行う。これまで耐重量性を高めた工場用家具や平成24年に参入した医療用家具などで実績を重ねてきた。現在は一般家庭向けスチール家具の研究開発を進めている。

事業継続のためには長期的に会社を支える若手社員が不可欠と人材育成にも力を入れる。「次世代が育っていない企業には仕事は来なくなる」という鶴見社長の危機感から、最近の5年間で約30名を採用。資格取得やセミナー参加の支援、教育訓練などを行い、社内認定制度も設けている。部品の内製化が進んでいるため、いっそうの技術向上を図る。

COMPANY PROFILE

ダイシン工業株式会社

大版
27ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

昭和31年にスチール家具製造のため「大進鋼鉄工業所」として創業。昭和34年には株式会社に組織変更し、社名も「ダイシン工業」としました。平成元年には三重県亀山市に鈴鹿工場を完成。製造の自動化や設備の大型化に対応するため、平成19年以降は製造を鈴鹿工場に一本化し、環境対応も進めています。

多様化する市場のニーズに、品質・環境・サービス面で満足を得られる家具づくりを追求しています。

代表取締役社長 鶴見 哲男さん



■主な事業内容
金属製家具の製造

■主な取引先（納入先）
非公表

住 所／〒570-0011
守口市金田町
3-60-15
T E L／06-6901-5551
F A X／06-6901-5552
創 業／昭和31年4月
設 立／昭和34年8月
資本金／9,800万円
従業員／78名

<http://www.daishinkogyo.co.jp/>